

=====

<水球陣>東京地区国公立大学体育大会水球競技

H26.7.12 対東京地区国公立大学 @東京工業大学大岡山プール

関東学生リーグで勝った3校との対戦であり、東大にとってはどのチームにも負けることが許されない。一気に差をつけて試合を決めて、控えの選手が出場できるようにしたい。

対東京工業大学

東大 6 4 計 10

東工大 0 1 計 1

得点者：浪間(6)、梶原(1)、細江(1)、山田(1)、谷口(1)

第1ピリオド

ややパスミスが目立つものの、ミドルシュートがよく入り次々と点を重ねていった。ディフェンスでは相手の思い通りのプレーをさせず無失点に抑えることができた。

第2ピリオド

カウンターで1点取られるなど攻められる展開が続くが、正田の好セーブによりなんとかしのいだ。浪間が点を決め流れが東大になると徐々に選手を入れ替えながら得点を重ねていった。

対首都大学東京

東大 2 2 計 4

首都大 2 2 計 4

得点者：浪間(2)、梶原(1)、山田(1)

第1ピリオド

パスミスなどミスが相次ぎなかなか攻めきることができず、首都大に先制点を許してしまう。その後もカウンターによって点を取られるが、浪間のフローティングで追いつくことができた。

第2ピリオド

第1ピリオドに引き続きミスが目立ち、得点に結びつけることができない。なんとか梶原、山田の得点でリードするも、残り30秒でパスミスからシュートを決められ引き分けとなってしまう。

対一橋大学

東大 63 計9

一橋大 02 計2

得点者：浪間(3)、池亀(2)、梶原(1)、石田(1)、細江(1)、山田(1)

第1ピリオド

前の2戦とは異なりミスも少なく楽に点を取っていった。またディフェンスでもカットが相次いでいたため、控えの選手との交代が行われた。流れは東大のままピリオドを終え、6対0であった。

第2ピリオド

流れは東大のままで着実に点を重ねていき、控え全員が出場した。無失点のまま試合を進めていたが、終盤に立て続けに2点を奪われてしまった。試合終了間近に石田がシュートを決めて試合終了。

結果としては2勝1分で優勝であったが内容としては決して満足のいくものではなかった。パスミスなどのミスが相次ぎ、勝てるはずの相手に引き分けてしまった。ひとつのミスが負

けにつながることもあるのでミスを減らせるよう練習を積み重ねいきたい。

(文責 久田祐太郎)
